第十五話 前編

雑誌との出会いが未知の世界へ
プロ空手入り武器との戦い

読者の方も人生での一寸した出会いで、自分の進む道が変化したり、己が探がし求めていた、仕事と遭遇した方も！

あろう！

人は己の足を使かって、歩きまわる事で多く物を見つけ、多くの人と出会いで自分の心も豊かになり、未曾有なる出会いの人生の扉が開くことがある事であろう！

人間引きこもりの状態になった時は、外を見るのじゃ、空を見るのじゃ！

コクヨ ケ-10 20×20

そして大きく息を吸いこもう！
外の素晴しい空間には！自分
いう心を探がしている！もう一ツ
の自分が必らず待っていますぞ。
仏人語録！己を甘やかすのは悪魔
心！善魔にきりかえ！コントロール
するのじゃ！
私は！道場の稽古だけでは！
なんとなく！物足りないので！
私が住んでいる。アパートから十
分位のところに新日鉄の公園
があり、私はその公園中（なか）の森
のような場所に桜の木があ
るので！その木に蹴りを入れたり
いろいろと工夫をして、使かって
おりました。
ある時に！なにかを！かついで
来る人が見えた！
段々と近かずくにつれて私の
方向に来ているようだ！

コクヨ ケ-10 20×20

エー！私の体に緊張が走った。
もしかしたら！私がいつも桜の木
を！蹴っているから、怒られるの
かな！と思った。
やはり、私の前で止まった！
私は！小さく頭を下げた！
で！その人は！私の前に、かつ
いでさた鉄パイプを！ドスント、置
いて、私に！思いやりのある言葉つ
かいで。

桜の木が駄目になるから。これに
サンドバックを吊りさげなさ
いよ！
あとは、何にもいわずにたろう
としたので！
ありがとうございます。
あの！どちらのお方でしょう
か！・・・・
この公園の官理人をしてあります。

文句の一つも言わないで考へて行かれた。

大自然の空間に、足を踏み出せば！すばらしい人との心の出会いを、天は与えて下さることを実感した。

仙人語録↓　心を閉じたままでの引きこもりは！成長が犀れ、己の後悔になる。

それから私は、布で、サンドバック作りを始めた。

そして三日間で作りあげた官理人にいただいた鉄パイプに、私の手作りのサンドバックを吊り下げて、初の蹴りを入れた、木を蹴るのとは！まったく違がうぞ。

官理人さん本当にありがとうございます。

それから数日後、私と一緒に鍛

コクヨ　ケ-10　20×20

練をしている者が！
良い物を作りましたネ！僕も
どうせて下さい。
あッいいとも。私は蹴舌を終
えて、帰える途中に喫茶が
あり、店のオーナの長女の子
と話しながら！雑誌を見てい
た！
その時に私は！エッ！何に！こ
れは！あつく もえるものをかんじた
その時に！店の人が！
どうしたのですか！！大きな声
を出したりして。何にかいい事で
もありましたこと！ニコニコと笑っ
ていった。
そうなんだよ！おお！ありなん
だよ。私が！探がし求めていた
ものが！ホレ！ここに載っているん
だよ！
「では！空手の事ですか！」

そうなんだよ、私がいま一番に力を入れている、人前でアクションが出来る空手があったのだよ！

「エーッ！それで！あんたの顔つきが変わってしまっている訳ネ！

へー！そんなに私の顔が！変わった！！そう言えば！変わっても無理ないかもな！

これからの私の人生を変える重期的なことになりそうだぞ！

「そんな男性って素敵ね！」

ありがとう、うれしい事をいってくれるね！ホラッ！見てごらん！上半身の字真ですよ！

全てプロ空手選手ですよ！

私が外に出て蹴古をやっていなかったら！そして、この「ボニー」というに来ていなかったら！

現在の活動は！しんなかったであろう！

そしてプロ空手の存在を知ってからの私は、プロ空手を選ぶか！！いままで通りの仕事を続行するか！悩みに悩んで！プロへの道を進むことにした。

しかし！ここに延びたり着くには！それは！それは！なみの者には！信じられない、大変な犠牲がありました。

その犠牲の話しは、随所にて書くことにさせて下され！

そして念願かなって、リングの上で試合が出来るようになりました。

それは！良かったのだが！

試合中に左手を複雑骨折してしまったのだ！その為に一年間入院する事になったのだぜ！

コクヨ ケ-10 20×20

エッ！何んでござるか！！
一年間は！長過ぎると！
誰でもが！そのように思うで
あろう！
だから！そのへんのところを
話しましょうぞ！
相手の蹴りを！私の左の手首
と、肘の間に二本の骨があり
ますよね！親指側の大きな骨
と、小指側の小さい骨があり、
私は！まだ未熟で、実践試合
が足りなかっので！アマチャ道場
で教えて、もらった通うりに、
相手の蹴りを！小さな骨の方
で、まともに受け止めたのよ！
手が！足の蹴りに勝てる訳がない
その蹴を受けたときに！
左手が撓ったような感じを受
けた！痛いッ！折れたかな！
スグに！また同じ蹴りがきたの

また、同じ手で受けた、痛ッ
ああ、この痛みは、手がい
かれたな、と思った、
それでも終わりまで試合を続
けた。
リングドクターが、私の方へ近かず
いてきて、どら、手を見せんな
、あー、これは、折れてるば
い、
そしてリングドクターの病院に
行き、院表が、複雑骨折
ばい、といった、そして入院
が決まったのでござる、
それにしても、入院が、表
すぎるですって、
そうですよね、
来會有な出来ごととというか
、お笑い話しというか、
実は、こんなことが、入院中に
おきたのでござる、

この病院の院長は！リング・ドクターをしており、若いころはボクシングを！やっていたらしく、で！この病院では！朝の朝礼が外のテニスコートで行われるのでござる。

私は！左手のギプスを取りはずして、リハビリに、うつって！おりました。

院長の、垂ぬで、朝礼の時に

病院のスタッフ一同の前で！空手の期本を見せて！スタッフ一同にやらせておりましたのじゃ。

看護師たちは！嫌々で、やっていたことであろう！！ある朝礼のときに！どんぐり！目を八千八千！して！

「浅山君！オイ、は昔にな！ボクシングを！やっていたけん、

浅山君の空手と！今から！やっ
てみるぼい！遠慮は！いらんけん
本気で打ってきて良かばい！」
と！いわれたが！……！相手
は！甘木市一番の大きな！病院
の院長ですぞ！私が本気に
なって相手をする訳にはいかな
いですよね！
だからといって逃げるばっかり
でいかないし！

看護師たちの前で！そして
入院している患者が！窓から
見ているのですぞ！
院長は！すっかり！やる気に
はまっていた。
シュッ・シュッ！とジャブを出してい
る！浅山君！早ようこんな
！おいがいくばい！
院長は！容赦なく打ってきた
！空手の場合は！どうしても！

手で受けようと、しますから
どうしても、骨折した手に
当たります。
このような、遊びを、行っていた
、ある日、私は、手に痛み
を、感じたので、院長に、
少々痛みを、感じますが、
すると、どんぐり目を、大きく
開いて、ニコッ、と笑って、
「ああ、そうな、レントゲン室
に、いって撮ってもらいない、後
で、オイが見るけん。」
その日の午後に、院長から、
自宅に、よばれた、いつものよう
に、大きなドングリ目で、ニコッ
して、
骨が、また離れたばい、良か、
良か、気にする事は、なかばい、
またすぐ、くっつくたい。
それから、十日位後に院長から

呼び出しがあり、今日、福岡の中州のクラブに行くけん。ベンツの運転を頼むばい

クラブでは、私は、ジュース を飲んでいた。このような夜のつき合いが随時あり。

ある時は、こどもの運動会があるけん、学校へ行って写真を撮ってきてやんない。

また、ある時は、バレーボールで、親指をいためたけん、一寸だけでいいけん、もんでやんない。と言われたり。

いつも、思い切りの良い男らしい治療をしている院長も、このようなところを私に、させるところは、さすが、大者のドクターである。

そして、一年間の入院生活を終えて、やっと退院する事になった。

退院後も、病院で、お世話になる事になって、院長と、行動をした。

コクヨ ケ-10 20×20